産経新聞

岸和田の魅力 連携して発信

「シティプロモーション推進協」発足

自然豊かで人情も厚く、だんじり祭や岸和田城といった文化資源もある岸和田市の魅力を連携して発信していこうと、まちづくりなどに関わる市民やNPO団体、企業などが「岸和田シティプロモーション推進協議会（kcp）」を発足させた。岸和田を訪れる人や住む人を増やし、地域を活性化させることを目標としている。

市内の中小企業や商店、障害者団体やコミュニティーFM局など幅広い分野の約25の個人、企業、団体で構成。それぞれの活動を連携させることで魅力を高め、より広く発信することを目指す。

観光推進などに取り組む「地域資源活性化委員会」や、福祉や子育てに関わる課題解決を目指す「ソーシャルサポート委員会」など4つの委員会で組織する。

kcp会長で人材派遣会社社長の笹部美千代さんは「岸和田は人口が減り続けており、このままではいけないという危機感がある。多くの人をつなげながら、岸和田を動かす組織にしていきたい」と話している。

2016.6.16 産経新聞朝刊